

北部九州関連施設における肝疾患大規模臨床研究

* はじめに

北部九州は日本で肝臓癌死亡率の最も高い地域の一つです。その原因としては、B型肝炎あるいはC型肝炎に感染している患者さんが多いことが考えられます。また、それ以外の慢性肝疾患の原因の一つである自己免疫性肝疾患（自己免疫性肝炎・原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎など）は、肝臓疾患の中では比較的患者さんが少なく、一施設のみではその実態が把握しにくいのが現状です。更に、最近では生活習慣病（高脂血症、糖尿病、高血圧症、内臓肥満）の増加に伴い、非アルコール性脂肪性肝疾患の増加、そして肝臓癌発症の増加も指摘されていますが、明確な実態調査はなされておりません。今回の多施設共同研究により多くの症例から治療方法や予後などを検討する予定です。更に、慢性肝疾患だけでなく、急性肝炎の原因、治療に関する研究も行うことで、将来の肝臓疾患治療に役立つことが期待されます。

* 対象

下記施設において、2008年1月1日以降に肝臓疾患で治療を受けられた方を対象としております。

* 研究内容

肝臓疾患で治療された患者さんの背景因子（年齢、性別など）、血液検査データ、治療内容とその効果に関してデータを集積し、解析を行います。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担は生じていません。

* 患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を全て削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

* 研究期間

研究を行う期間は2011年3月10日より2014年3月31日までの予定です。

* 医学上の貢献

研究結果は肝臓疾患の実態や将来の治療法の発見の一助となり、患者さんの治療と健康に貢献出来ることが期待されます。

* 研究機関

九州大学病院 総合診療科	教授	林 純（責任者）
	准教授	古庄 憲浩
	特任助教	小川 栄一
病態修復内科学	助教	下田 慎治
病態制御内科学	助教	古藤 和浩

連絡先：〒812-8582

福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

TEL 092-642-5909

担当：小川 栄一

* 協力研究機関

新日鉄八幡総合病院、九州医療センター、浜の町病院、北九州市立医療センター、
小倉医療センター、新小倉病院、福岡市民病院、済生会福岡総合病院、原三信病院、
福岡東医療センター、宗像医師会病院、千早病院、九州厚生年金病院、九州中央病院、
仲原病院、新栄会病院、JR九州病院、九州がんセンター、天ヶ瀬クリニック、
別府医療センター